

小学校 [教師用]

この「明日へはばたく力（培いたい力）」は青森県キャリア教育の指針（総論編）第Ⅰ章「青森県教育委員会が目指すキャリア教育の姿」の「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」から設定されている。

明日へはばたく力 (培いたい力)

👉…解説

<自己を見つめる力>

自己理解・自己管理能力

自分自身を客観的・肯定的に見つめ、自分がしたいこと、できることを理解し、それに向かって自己をコントロールし、主体的に学んだり行動したりする。

👉自分のことを知ることは、周囲のことを知ることにもつながります。そして、他の人の意見を聞くことで、自分のよさに気づいたり伸ばそうとしたりします。

<つながる力>

人間関係形成・社会形成能力／ キャリアプランニング能力

自己を見つめる力をもとに、他者、自分を取りまく環境（社会）、将来を見通した生き方（未来）とのかかわり方を考え、積極的につなげていこうとする。

👉様々な場所で、いろいろな活動をしています。そして、たくさんの人たちと「つながって」学んでいます。

<動く／生かす力>

課題対応能力

仕事をする上での課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決する。

👉様々なことに取り組んでいます。その一つ一つが、自分を支える経験となっています。

<創り出す力>

キャリアプランニング能力

自分や他者のよさを踏まえ、自らの経験や様々な情報等を総合的に活用し、新たな価値を生み出したり、仕組みを創り出したりする。またそれを発信する。

👉いろいろな人とのかかわりをおして、新しい考えに気づいたり、やりかたを工夫したりしています。

【自分自身を大切に思う気持ち】

誰かの役に立ちたい、誰かに必要とされているといった、他者の存在を前提として自分の存在価値を感じる気持ちであり、社会の一員として自らの果たすべき役割を考えていく上で、基礎となる感覚。

👉学校や家庭では、一人一人が自分の仕事を分担しながら生活していますが、ふだんは、そのことをあまり意識していません。しかし、だれもが大切な人であり、必要な人なのです。ですから、自信をもって自分のよいところを生かして自分の役割をがんばっていくことが大切です。

【ふるさとを誇りに思う気持ち】

郷土（青森県、自分の住む地域）のよさを知るとともに、他の地域・異なる文化との違いを知り、ふるさとを誇りに思う気持ち。

👉自分たちが住んでいる地域の姿やよさを知ること、ふるさとに対する愛着や誇りが芽生えてきます。その思いを礎として夢や希望を育み、いろいろなことにチャレンジすることが大切です。

※上に示した4つの力を培うための支えとなるのが児童の心の成長です。